

南部地区人権教育実践報告会

令和元年7月26日(金) 会場：鴻巣市文化センタークレアこうのす

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉
(2) 挨拶

実行委員
南部教育事務所長
実行委員長
鴻巣市長
人権教育課指導主事



- (3) 情報提供

- (4) 人権作文・表彰

- ・「やさしい気持ち」
- ・「ヘアードネーションしてきたよ」
- ・「ほちょうきのことを知ってください」
- ・「母子手帳から考えたこと」
- ・「家族の絆」
- ・「言葉の意味」
- ・「強く生きる」
- ・「男女平等について」
- ・「発言の自由」

戸田市立戸田第一小学校	第2学年
蕨市立中央東小学校	第3学年
上尾市立西小学校	第4学年
上尾市立上尾小学校	第5学年
伊奈町立小室小学校	第6学年
桶川市立桶川東中学校	第1学年
草加市立草加中学校	第2学年
県立伊奈学園中学校	第3学年
県立新座総合技術高等学校	第3学年

- (5) 閉会の言葉

実行委員

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
同和問題	○紙芝居で育てる5歳児人権教育の取組について ○上尾市立大石南中学校の人権教育実践 ～「他律から自律へ」自律できる生徒の育成へ～
子供・インターネットによる人権侵害	○子供たちが笑顔で学校に通える学級づくり ○グローバルリーダー育成における人権教育 ～「共生力」を身に付ける～ ○インターネットと人権について ～元気に育つ志木っ子条例の事業展開から～
高齢者	○和光市における人権教育の取組 ○自校の建学の精神「愛と奉仕」を、地域交流等を通して体現する生徒
女性	○看護師養成課程5年一貫校の女性の人権への考え方と授業実践 ○男女に関する公正・公平に関わる人権感覚の育成
障害のある人	○保育の中での支援方法 ○他者を知り、多様性を認め、お互いを尊重し合える心の育成
外国人・北朝鮮当局による拉致問題	○みんな友だち ～一人ひとりの人権を大切に～ ○日本語指導が必要な外国籍の児童に対する取組について ○拉致問題を取り上げた人権教育の実践

3 参加者の意見など

- (1) たった一つの知識や心の持ちようで見える世界や考え方が変わることによって気付かされました。
- (2) 人権教育を難しくとらえず、良好な人間関係を築くためのスキルや思いやりの心と考えると身近になるような気がしました。
- (3) 人権を教え込むのではなく、子供に人権について考えるきっかけをつくるのが、我々教師の役割なのだと考えさせられました。